

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表(公表)

事務所名	放課後サポートクラブえがお
保護者評価実施期間	令和 7 年 10 月 31 日 ～ 令和 7 年 11 月 7 日
保護者評価有効回答数	(対象者数) 12 名 (回答者数) 12 名
従業者評価実施期間	令和 7 年 10 月 31 日 ～ 令和 7 年 11 月 7 日
従業者評価有効回答数	(対象者数) 6 名 (回答者数) 6 名
事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 11 月 27 日

★ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
①	基準より多い人員の職員を配置している	職員を多く配置することで、体調不良等の急な欠員にも対応できる。	専門職を増やすことで支援の質の向上につなげることができる。
②	日々の活動の様子を写真や動画で保護者に伝えている	送迎時、お迎え時だけでなく写真や動画を保護者に送ることで、よりわかりやすく伝えることができる。	翌日ではなく、当日のうちに伝えられるよう工夫する。
③	不登校支援を含めた環境づくりや活動内容を計画している	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保護者との密な連携をとっている。 ・不登校児童が安心して過ごせる場の提供ができている。 	児童の特性や学習進度に合わせた学習支援を行う。
	事業所の弱み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
①	平日の中学生の支援時間が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時間が遅く、支援時間に限りがある。 ・学校からの事業所までの送迎距離が長く、送迎に時間がかかっている。 	登所後の時間配分（スケジュール）を工夫する。
②	屋外や体育館等の広いスペースで活動する機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の敷地内または近隣に外遊びの場がない。 ・児童によって下校時間にばらつきがある。 	長期休暇中等に外出等、普段できない活動を計画する。
③	保護者同士の交流の機会がない	保護者の就労状況や平日のみの開所のため、一律の対応が難しい。	親子で参加できる活動を計画する。